

浮いて生き延びる

津波救命艇



津波救命艇の普及を進める会

「津波救命艇」って何？

津波救命艇は、東日本大震災の教訓を踏まえて国が定めた安全基準（津波救命艇ガイドライン）を満足する、津波避難用の船です。

津波の中に放り出されれば、大量の「がれき」によって大けがをしたり、冷たい海水によって体温を奪われ、生き延びることはとても難しいといわれています。津波の威力は凄まじく、通常の船やボートでは津波に巻き込まれることはとても危険です。

津波救命艇は十分な強度がある上に、海水が中に入ってくることもありません。東日本大震災では、巨大津波により、高台などにたどり着くことができなかった多くの方々の尊い命が失われました。もし、住まいの近くに津波救命艇があったら、どれだけ多くの命が救われたことが知れません。

また、避難が困難な高齢者や身体の不自由な方などにとって、津波救命艇は有効な避難手段になると期待されています。

津波救命艇

現在、以下の3社の製造した津波救命艇が設置されています。



（提供：株式会社IHI）



（提供：株式会社信貴造船所）



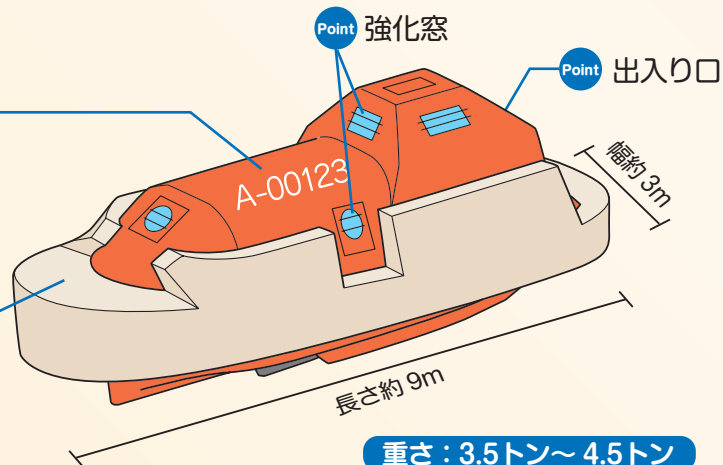
（提供：ツネイシクラフト&ファシリティーズ株式会社）

<概要（定員大人25名の例）>

Point 空いているスペースに人が乗り込んでも沈んだりしません。

Point 救助のため、1つ1つに番号が書かれています。

Point 激しい衝撃から中の人を守るため、厚いクッション材が入っています。



<内部>



Point 座席に座って避難します。

Point シートベルト、ヘッドレスト、弾力性の高い座席シートを採用しています。

Point 床下などの貯蔵庫には7日分以上の水や食料が備えられています。また、医薬品や衛生用品、防寒シート、予備の乾電池、充電器など、様々な生存キットも備えています。

Point 出入りがしやすいよう広い入口があります。

Point 個室トイレがあります。

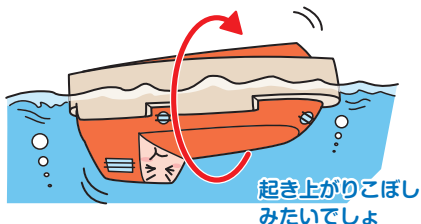
Point 明り取りの大きい窓とLEDライトも設置しています。

こわれない、沈まない 津波救命艇の安全性能

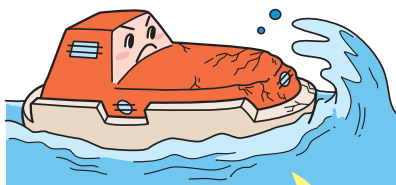
壁に激突しても
大丈夫！



ひっくり返っても
もとに戻ります！



ちかくで火災が
おいても大丈夫！

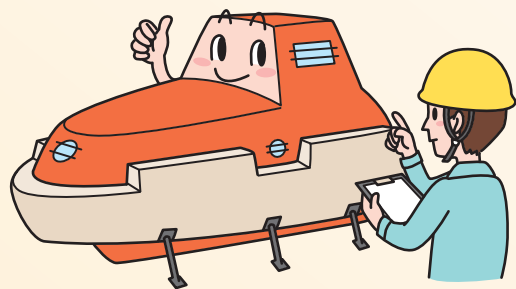


割れ目から水がたくさん
入っても沈みません！



でも、やっぱり
揺れるよ

定期的な点検整備と訓練



製造者が示す維持管理マニュアルに沿って、定期的に点検しましょう。
そうすることで、40年以上安全に使用できます。
また、発災時にスムーズに避難できるよう、定期的に避難訓練などを実施しましょう。

通常時の活用例



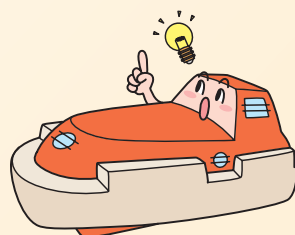
遊具として

イベントの**救護所**などとして



津波救命艇の特徴

- Point** 職場や住居に近接して設置できるため、高齢者、病人、子供などの避難弱者も容易に避難できます。
- Point** 浮いて避難するため、想定より高い津波が襲ってきても安心です。
- Point** 波浪や風雨、雪などから、内部の人を守ります。
- Point** 海岸付近に設置すれば、消防や警察などの救助する側の方の最終避難手段となります。
- Point** 7日分以上の水や食料を貯蔵しているので、避難中や復旧段階でも使用できます。
- Point** 海上で速やかな救助が行えるよう、個々の津波救命艇の情報は海上保安庁にも伝えられています。
- Point** 発災後の復旧時には、救護施設などとして活用できます。
- Point** 変化するニーズに合わせて、設置場所を変えたり数を増やすことも容易にできます。



津波救命艇ガイドライン（国土交通省）

- ◆「津波救命艇ガイドライン」は、津波救命艇が満たすべき機能要件や維持・管理方法等を国土交通省が定めたものです。また、津波救命艇が機能要件を満たしていることを第三者機関により評価を受けることが推奨されています。
- ◆ 津波救命艇に関する情報は、国土交通省のホームページで公表されています。

「津波救命艇ガイドライン」で高い安全性が確保されるの？

1. 津波救命艇ガイドラインは、津波救命艇が満たすべき機能要件として、強度設計と許容加速度、不沈性及び復原性など 10 の項目を示しています。第三者機関による安全性を確認するための評価の際に、各種の試験やシミュレーションの実施等を製造者に課しています。
2. 例えば、正面衝突 10m/s、側面衝突 5m/s においても形状を維持し、その強度を損なわないことが定められ、試験などにより確認しています。

衝突強度試験



提供：ツネイシクラフト&ファシリティーズ(株)

HP「安全性の確保」
から実際の動画を
ご覧いただけます。



3. さらに、復原性（ひっくり返っても、元の姿勢に戻る性能）については、艇の上部が真下を向いた場合にも元の姿勢に戻ることが定められ、試験などにより確認しています。

自己復原試験



提供：(株)信貴造船所

HP「安全性の確保」
から実際の動画を
ご覧いただけます。

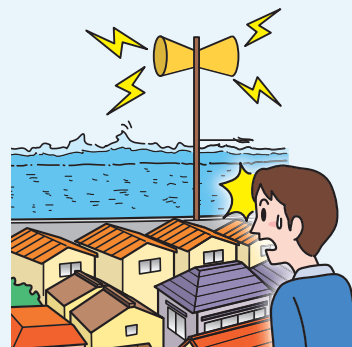


4. そのほかに、漂流時の姿勢保持、居住性、避難者保護措置、装備品、通信設備、本体の色、表示項目、設置架台等について規定されています。

避難から救助されるまで！

津波からの避難は、できる限り迅速かつ高い場所に避難することが重要です。

津波救命艇は、このような高所避難ができない人のためのものです。



お年寄り



体の不自由な方



小児



けが人

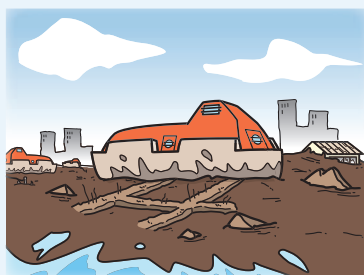


- ・近くに高台がない人
- ・逃げ遅れた人

僕の出番です！



- ① 津波救命艇に乗り込む
- ② 座席に座る
- ③ シートベルトを締める
- ④ ドアを閉める（代表者）



津波が引き始めたら地面に着地

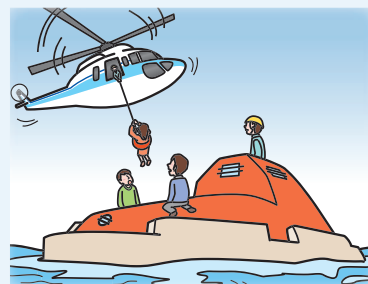
津波救命艇は津波で浮き上がり、内陸部に流され、津波が引くと着地して陸に残ります。

もし、海に流れ出てしまったら？

津波救命艇は、目立つ色彩等が施されており、どこからでも容易に発見され易いデザインで造られています。

津波救命艇には、遭難信号発信装置を積んでいます。

その信号を受信した海上保安庁などが救助してくれるので、安心して津波救命艇の中で待っててください。



※本冊子は国土交通省四国運輸局等の資料に基づき作成しています。
※表紙の写真は海上保安庁撮影

津波救命艇の普及を進める会

E-mail : info@tsunamikyumeitei.jp TEL : 03-3261-6611

HPへ

